

燕市観光振興プラン(素案)に対するパブリックコメントで寄せられた意見とそれに対する市の考え方

1. 意見の募集期間

令和8年1月1日（木）から令和8年1月21日（水）まで

2. 意見の提出

人数 2人、件数 20件

3. 意見の内容と市の考え方

以下の表のとおり

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
1	3 ページ ■第1章 観光振興プランの策定にあたって ■1. 観光振興プラン策定の背景と趣旨	金属加工産業のまちである燕市の実態を証明できる具体的な数字があった方が一文目としてインパクトが強い。 例：洋食器生産全国第一位、シェア 90%等	ご意見を踏まえ、本文中に「金属洋食器の国内生産シェア 90%以上」を追加しました。 (修正前) 燕市は、国内外においてその名を知られる金属加工産業のまちとして、高度な技術と伝統文化が息づく地域です。 (修正後) 燕市は、国内外においてその名を知られる金属加工産業のまち <u>であり、金属洋食器の国内生産シェア 90%以上を誇るなど</u> 、高度な技術と伝統文化が息づく地域です。	有
2	4 ページ ■第1章 観光振興プランの策定にあたって ■3. 本プランの位置づけ	一般の市民にとって国や県がどのような政策、施策を行っているのかイメージがつきにくいので、大きい施策や政策にはどのようなものがあるのかを1つか2つ記載した方がわかりやすいのではないかと。	国・県の大きな計画については、4 ページ「2. 国・県の動向」に記載しています。	無
3	5～7 ページ ■第2章 燕市の観光を取り巻く現状 ■1. 観光統計調査 ■各グラフ	全て増加をしていることがわかるように「△」を入れ、増加が一目で視覚的に分かるようにした方が見やすいのではないかと。	5～7 ページの調査結果は、視覚的にわかるように棒グラフを採用しています。	無

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
4	8 ページ ■第2章 燕市の観光を取り巻く現状 ■2. 観光動態調査 ■1. 人流データを活用した観光動態調査の概要	観光動態調査結果を踏まえ、現状を分析しますと言った紹介文があるにも関わらず、いきなり「国内観光の定義」と「訪日観光の定義」の説明が始まっており、観光動態調査との紐づけがうまくできない。 「国内観光の定義」と「訪日観光の定義」のサブタイトルを一つ作成してから紹介文や「人流データを活用した観光動態調査の概要」を記載した方が説明の流れがスムーズかと思われるが如何か。	「国内観光の定義」と「訪日観光の定義」については、表にまとめることで、視覚的に見やすい形を採用しています。	無
5	22 ページ ■第2章 燕市の観光を取り巻く現状 ■3. 観光意向調査 ■(10) 燕市の観光コンテンツで興味があるもの	選択肢③で、「トレッキングと良寛史跡、道の駅」が一緒なのはおかしいのではないか。	アンケート調査を実施した際、選択肢が多いと回答者が選択しづらくなるため、国上山エリアの観光コンテンツをまとめた選択肢としました。	無
6	29 ページ ■第3章 プランの基本的な考え方 ■2. 基本目標	見出しの「基本目標」は「目標」で良いのではないか。	本項目では、基本理念に続き、本プランの土台となる目標を記載していることから、「基本目標」として表記しています。	無

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
7	29 ページ ■第3章 プランの基本的な考え方 ■2. 基本目標 ■3. 地域との協働	肝心な内容である「観光による経済的恩恵を持続可能な形で地域全体に還元する効果がある』とあるが、地元住民にとってどのような箇所でどれくらいどういった効果を得られるのかのイメージがつきにくい。 他の市町村の成功例を参照し、具体的な経済効果の内訳を根拠として入れた方が理解しやすいのではないか。	一般的には、観光消費が地域経済の活性化や雇用創出につながるとともに、地域への恩恵として地域資源の価値の再認識や生活環境の質向上、そして定住人口、交流人口の拡大につながるなどの恩恵があると考えられます。なお、観光の恩恵は、各地域の特性によって様々であることから、例示は控えます。	無
8	30 ページ ■第3章 プランの基本的な考え方 ■3. 優先的ターゲットの設定 ■(4) 今後のプロモーション方針	国上山の希少植物や良寛史跡群はシニア層との相性が良い。それらの観光資源を有効利用すべき。	自然観光を推進する上で、国上山の観光資源は貴重であると認識しています。 引き続き、それらの観光資源を含めてプロモーションを展開していきます。	無
9	32 ページ ■第4章 目指すべき方向性 ■基本戦略2 自然観光の充実	基本戦略2で目標としている自然観光の充実には、分水ビジター・サービスセンターへの誘客事業を積極的に展開することが不可欠と考えるが、如何か。	分水ビジター・サービスセンターは、国上山の植生や良寛史跡など自然観光の魅力を伝える大切な役割を担っている施設であると認識しています。現在、国上山を中心とした自然観光の充実に向けて、道の駅国上も含めたエリア一体で取り組んでいます。	無

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
10	34 ページ ■第4章 目指すべき方向性 ■基本戦略3 インバウンド受入環境の整備	『産業史料館は、「ものづくり」を目的とした体験型観光として外国人観光客から人気を集めています』とあるが、どのような体験を行うことができるのかの明記が必要ではないか。	ご意見を踏まえ、産業史料館の体験メニューの一例「純銅タンブラーの鍍目入れやチタン製スプーンの酸化発色体験など」を追加しました。 (修正前) … (略)。特に産業史料館は、「ものづくり」を目的とした体験型観光として、外国人観光客から人気を集めています。 (修正後) … (略)。特に産業史料館は、 <u>純銅タンブラーの鍍目入れやチタン製スプーンの酸化発色体験など</u> 、「ものづくり」を目的とした体験型観光として、外国人観光客から人気を集めています。	有
11	35 ページ ■第5章 戦略の展開 ■基本戦略2 自然観光の充実	自然観光の充実には燕市分水ビジター・サービスセンターへの誘客事業を積極的に展開することが不可欠である。	分水ビジター・サービスセンターは、国上山の植生や良寛史跡など自然観光の魅力を伝える大切な役割を担っている施設であると認識しています。現在、国上山を中心とした自然観光の充実に向けて、道の駅国上も含めたエリア一体で取り組んでいます。	無

12	<p>36 ページ</p> <p>■第5章の戦略の展開</p> <p>■基本戦略2 自然観光の充実</p> <p>■2. ～観光イベント開催による誘客促進～</p>	<p>自然観光の充実に「分水おいらん道中」「越後くがみ山酒呑童子行列」を含めると手段と目的が曖昧になることから、自然観光と切り離して考えるべきではないか。</p>	<p>「越後くがみ山酒呑童子行列」と国上山の自然との結びつきを強調するため、文言を追加しました。</p> <p>「分水おいらん道中」や「越後くがみ山酒呑童子行列」は桜や国上山といった自然観光資源と密接に結びついていると認識しています。この相乗効果を活用することで、イベントを自然観光と完全に切り離すのではなく、それぞれ補完的に作用する形で観光全体の価値を高めることが可能であると考えます。</p> <div data-bbox="1352 719 1977 1011" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(修正前)</p> <p>…(略)。さらに、最強の鬼として知られる「酒呑童子」にまつわる誕生伝説をテーマにした「越後くがみ山酒呑童子行列」では、鬼軍団とともに地域を練り歩くユニークな体験を提供します。…(略)。</p> </div> <div data-bbox="1352 1011 1977 1348" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(修正後)</p> <p>…(略)。さらに、最強の鬼として知られる「酒呑童子」にまつわる誕生伝説をテーマにした「越後くがみ山酒呑童子行列」では、鬼軍団とともに<u>豊かな自然を楽しみながら</u>地域を練り歩くユニークな体験を提供します。…(略)。</p> </div>	有
----	--	---	--	---

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
13	36 ページ ■第5章 戦略の展開 ■基本戦略3 インバウンド受入環境の整備 ■2. デジタルプロモーションの強化	デジタルプロモーションは国内外問わず有効な広告ツールのためインバウンドの受け入れ体制内での戦略展開ではなく、国内に向けても有効なのではないか。 また、デジタルプロモーションを6つ目の基本戦略として掲げてよいのではないか。	デジタルプロモーションは国内向けにも有効と考えています。本文中において、「国内外問わず幅広いターゲットに対し、効果的な誘客を実現してまいります。」と記載しています。 また、デジタルプロモーションにおいては、物理的な距離がある国外に対して、特に効果を発揮することから、基本戦略3に記載しています。	無
14	38 ページ ■第6章 達成目標 ■戦略指標2 自然観光の充実	燕市の自然観光の物差しを道の駅国上の入場者数だけで測るのはいかなものか。 分水ビジター・サービスセンターでの入館者数でも測るべきではないか。 国上山の自然、全国的にも希少な山野草や良寛さんに関連する五合庵などの史跡を目当てに全国から訪れる観光客は少ない。拠点には道の駅ではなく、ビジターセンターになっている。	本市の自然観光においては、国上山エリア一体で推進していくことが必要であると考えています。そのため、自然観光の拠点施設である「道の駅国上」の入館者数を指標としています。	無
15	全体	副市長が座長を務めた弥彦村との連携について、もう少し記述があった方が良かった。	弥彦村との連携については、燕・弥彦広域観光連携会議として、29、33、34 ページなどに記載しています。今後も燕・弥彦広域観光連携会議の各事業を通じて、広域観光を推進していきます。	無

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
16	全体	<p>ものづくりとしての体験型観光地を一つのテーマとして挙げているが、どのようなものづくりが体験できるのか、現在はどのような体制で（いつ、どれくらいの人数で）行われているか等の具体的な取り組みが見えてこないため、ものづくりとしての印象があまり残らなかった。燕市をもともと知っている方であれば、記載されている内容でもイメージや理解ができるが燕市について知らない人としては、本プランを一読してもイメージがつかみにくい。</p> <p>上記、体験の詳細に加えて視覚的印象を与えるためにどういったものづくりが行われているかの写真や画像をもう少し添付した方がわかりやすい。</p> <p>その点、観光地については、写真が多く使われており分かりやすかった。</p>	<p>本市における産業観光（工場見学やものづくり体験）は、産業史料館をはじめ、各事業者等がオープンファクトリーとして実施しています。工場見学や体験内容は各事業所や施設によって様々です。そのため、本プランには詳細を掲載していませんが、具体的な内容については、燕市や燕市観光協会、各事業所のウェブサイトやパンフレットなどの各種情報媒体で情報発信しています。</p>	無

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
17	全体	<p>自然観光について、道の駅国上への依存度ばかりが目立ち、本来の動植物や地学的歴史、またそれらによって育まれた良寛を代表とする全国的にも有名な観光資源が語られていない。本市の自然環境が他県からの移住者にとって、有益な要素となっていることも忘れてはいけないと考える。</p> <p>自然観光はお金にならないから積極的に推進しないのか。</p>	<p>自然観光は、燕市を周遊してもらう上において、大切な役割を担っているものと認識しています。</p> <p>その魅力については、燕市や燕市観光協会ウェブサイト、観光パンフレットや道の駅国上等において情報発信するなど、他の観光資源と同様にPRしています。</p> <p>引き続き、国上山を含めた自然観光の魅力を広く発信していきます。</p>	無
18	全体	<p>湯沢町や佐渡市と違ってもとからの観光地域でない燕市民にとって、観光振興がどのように地域の活性化、地域経済への波及効果、地域の魅力向上につながるかを理解してもらうのが重要であると思う。観光に関係している事業所では本プランに対しての理解度は高いと思うが、観光に直接関係のない大多数の住民はなんのことだという受け止め方であると思う。市民向けにわかりやすい広報、教宣、つばめ商工会など経済団体には事業者向けに広報、教宣をお願いしたい。</p>	<p>本プランの策定検討委員会を経て、キャッチフレーズ「観光客から選ばれ、市民も誇れる魅力的なまち燕市」を設定しました。今後、市民の皆様や各事業者にも観光事業の取り組みについて周知していきます。</p>	無

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
19	全体	本素案には良寛、国上寺、大河津分水、鈴木文臺と長善館、また画壇の横山操、など歴史や文化を活用しての振興記述が少ないように思える。観光庁では地域観光魅力向上事業の公募、文化庁では文化推進法に基づく地域文化の魅力発信を推進している。燕市に埋もれている、また衰退しつつある文化財の活用などに取り組んで行くことを期待したい。	本市の文化財は地域の魅力を伝える重要な観光資源であると認識しています。文化財の活用や埋もれた観光資源の発掘など、燕市全体で取り組んでいくとともに、積極的に発信し、地域の価値向上と観光振興に取り組んでいきます。	無
20	全体	インバウンド観光については自動車につぐ第2位の輸出産業である観光の恩恵をこの燕市が享受できるようにしっかりと取り組んでいただきたい。	国は、観光立国を掲げ、観光産業を基幹産業として位置づけ、積極的に取り組んでいることから、本市においても国・県の動向を注視しながら、しっかりと取り組んでいきます。	無